

東日本大震災 まだまだ広がる 善意の活動

復興支援チャリティーショー

横山さんの思いに町民も応えた

5月1日(日)パルナスに芸能人たちが集結。雨の中にもかかわらず約400人の観衆が集まり、チャリティーショーが開かれました。この支援イベントは、町出身のタレント横山ひできさんの呼びかけに、県内の芸能人が応じたもので、三味線奏者の山田里千美さん、ダンスボーカルユニットのりんご娘。さん、歌手のオダギリユカさん、高瀬まみさん、リユタカさん、蒼天飛龍のみなさん、そして民謡歌手の黒石八郎さんといったそうそうたる顔ぶれが一堂に会しました。それぞれ一芸に秀でた人たちのパフォーマンスに、観衆はいつもより大きな拍手で応えていました。



イベントを企画した横山ひできさん



高瀬まみさんと夢幻天舞のコラボ

またショー終了後には、出演者によるチャリティー募金の呼びかけも行われ、ロータリークラブのほか集まった町民も次々に寄付。集まった義援金は日赤中泊町分区長の町長に目録で贈呈されました。

このイベントを企画した横山ひできさんは「甚大な被害で世の中が沈んでる。町の人も沈んでるのではないかと思い、イメージアップ大使でもあるので今回のイベントを企画した。ノーギャラにもかかわらず皆さん引き受けてくれた。この思いが、被災地に届けばと思う。できれば、第2弾第3弾と考えたい。復興の道のは長いだろうしね」と、思いを語ってくれました。

平山建設が義援金贈呈

今泉地区で建設業を営んでいる(株)平山建設(代表取締役 平山久宗)が、東日本大震災で被害を受けた県内被災者を応援しようと3月31日(木)、青森県に対し2000万円を義援金として寄付しました。

平山さんは、震災直後に見たニュース映像を目の当たりにし、そのすさまじさに言葉を失ったそうです。

今回の義援金は、被災者に役立ててほしい一心で送ったとのこと。また、自らが建設業を営んでいることもあり、会社としても助けたいという気持ちや、建設業にしかできない支援をしたい思いもあるそうです。

町からも 階上町と女川町に見舞金 宮古市に職員派遣

町では、災害に遭われた町に対するお見舞い金を届けました。県内の階上町へ5月2日(月)、宮城県的女川町へ5月6日(金)に、それぞれ150万円ずつを直接町長が届けました。

またその際に、階上町へは町建設業協会から託された見舞金10万円を、女川町へは(株)竹内組から託された4トントラック1台分の支援物資もあわせて届けました。

人員支援では、5月1日(日)に4人の職員を岩手県宮古市に派遣しました。



日赤中泊町分区長の町長へ目録贈呈

カラオケで復興支援 ふるさと交流会が企画



震災の復興に役立ててもらおうと4月17日(日)、第1回チャリティーふるさと交流カラオケ大会を開催しました。



町長は「このようなイベントを企画していただき、本当にありがたい。いただいた義援金は確かに被災者に届ける」と、同会の善意に感謝していました。

カラオケ大会は、ふるさと交流会と起きている会の会長を務める夏原謙二さんが役場を訪れ、町長へ寄付金が託されました。

夏原会長は「私も偶然岩手県で地震を体験した。歌い手たちが大会開催を危ぶんでいたのに、チャリティーとして開催した。皆さんの人に集まってもらい、支援への関心の高まりを感じた」と、義援金が集まったことに安堵していました。

19日(火)には、ふるさと交流会と起きている会の会長を務める夏原謙二さんが役場を訪れ、町長へ寄付金が託されました。

旗寄贈で交通安全祈る

読み聞かせサークル「ほっとけーき」

今年も交通安全を願って、読み聞かせサークル「ほっとけーき」(代表 成田いね子さん)のみなさんから、下前地区の新1年生へ、黄色い交通安全旗が贈られました。

この安全旗は、下前地区スクールバス発着地点近くの横断歩道を安全に渡ってほしいという願いが込められ、作られているものです。

旗は入学式が行われた4月7日(木)、5人の児童に手渡され、記念写真に収まりながら交通安全を誓っていました。

「ほっとけーき」は、読み聞かせボランティアとして小泊小学校を訪問し、同校の教育活動を支え、地域と学校の結びつきを強くしてくれているグループです。メンバーみんなが、この旗で事故なく元気に学校へ通えるよう祈っていました。



広告

介護職員基礎研修講座

7月開講 受講生募集

面接・研修場所： ディスパッチカレッジ介護福祉五所川原教室 五所川原市字栄町3番地10

申込期間： 5月2日(月)～6月15日(水)

研修期間： 平成23年7月19日(火)～

平成24年1月18日(水)

研修時間： 9時00分～16時15分

受講料： 無料

(教材費20,000円・傷害保険・健康診断料は自己負担)

募集人数： 30名

応募方法と選考について：

①ハローワークで受付申込書及びジョブカードの交付を受けてください。

②右記送付先へ「受付申込書」を郵送してください。

募集締切後、郵送にて選考時間等をご案内します。

(当社へ申込書を持参する場合は事前にお電話ください。)

③選考日 6月17日(金) [面接]

※欠席の場合は辞退とさせていただきます。

④選考結果 6月21日(火) ※郵送にて通知致します。

⑤その他 ヘルパー2級資格者可、近隣に駐車可

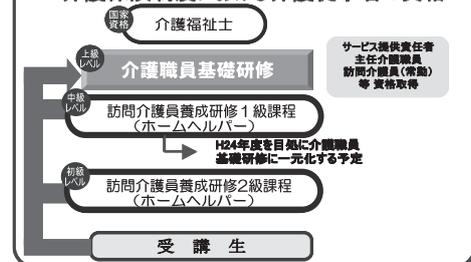
12月24日(土)、1月7日(土)、1月14日(土)授業あり

6ヶ月間で取得

上級資格取得は
今がチャンス!

受講料無料で更に「生活支援給付金」が支給されます。(要件有り)

介護保険制度における介護従事者の資格



ディスパッチカレッジ五所川原教室
株式会社ディスパッチ教育事業部
TEL 0173-26-1192 担当：塚本
〒037-0305 中泊町大字中里字紅葉坂55番地7

小泊の美しい海岸線 建設業協会が清掃ボランティア



小泊マリンパーク

4月23日(土)に、と折腰内海岸、竜泊ライン一帯で、「小泊海岸を守る会」による漂着ゴミの回収活動が行われました。

この活動は、企業の社会貢献活動の一環として行われているもので、当日ボランティアで回収作業にあたったのは、建設会社など6社の従業員と町関係者あわせて約160人。小泊マリンパーク内や、

次のとおりです。

■ 齋勝建設(株)、宝森建設興業(株)
島村産業(株)、(株)竹内組、(株)青南商事、(株)環境工学

作業した人たちは、その場で一緒に昼食をとり、お互いの労をねぎらっていました。今回活動してくれた会社は、

折腰内海岸の砂浜、そして竜泊ラインを歩き、1つ1ついいねいに漂着したゴミを拾っていききました。

まちの話題

作業終了後は、全員がすくすくこども館に集まり、今回の活動に対して町長から感謝状が贈呈されました。

角田文庫 オープン

3月号で、角田順一前町議が図書購入費を贈呈した話題をお伝えしましたが、町では贈呈したお金を図書館の図書購入費として使用し、このほど購入やデータ登録が終わりました。「角田文庫」としてオープンしています。



英社)や世界文学全集(河出書房新社)などを中心とした全集ものを購入。合計63冊が新たな蔵

国保から シリーズ 高齢者ボランティア

⑤ 中里地区



高齢者ボランティアシリーズも今回が最後となりました。最後は中里地区です。

中里地区の活動は中央公民館で行われ、8人の参加者がエコバッグづくりなどに挑戦。活動に参加した保健協力員の山本則子さんは「広い地域でなかなか一つの場所に集まらないため、公民館で私が聞いてきたものを宮野沢の集会所でもやりましたよ。紙バックづくりをはじめ大好評で「今度いづやるだば!」の声が殺到しています。一番若い私は、みなさんに持ち上げられちゃったので、10歳若返ってがんばりま〜す」とやる気十分でした。

書として加わりました。角田文庫に配備された図書は、町図書館での閲覧・貸出のほか、予約すれば日本海漁火センター図書室でも貸出が受けられます。どうぞご利用ください。

『ふり返れば懐かし』 外崎さんが 著書を寄贈

3月28日(月)、宮野沢地区の農家で、写真撮影や執筆活動を行っている外崎令子さんが役場を訪れ、このたび出版した「ふり返れば懐かし」を町長に贈呈しました。

この本は、平成14年5月から



「グラフ青森」という雑誌に連載された「わたしのふるさとみやのさわ」を1冊にまとめたもので、平成20年12月号まで続いた6年間の内容が載せられている本です。

外崎さんは本を手渡すなり「懐かしい写真あるでしょ?」と本を開いて見せ、町長もどこかで見たことある町の風景に懐かしさを覚えながら、2人で昔

電動ベッド・車いすを贈呈

NTT東日本弘前支店が内潟療護園に

4月26日(火)内潟療護園で、NTT東日本弘前支店と社員による電動ベッドと車いすの贈呈が行われました。

この贈呈は、地域社会への貢献活動としてNTT東日本が行っているもので、社員の募金活動と会社からの募金を合わせ、県内の福祉施設へ寄付を行う「NTT東日本マッチングギフトプログラム」という活動です。NTTの民営化10周年である平成7年から始められ、今年で16回目になるそうです。

当日は、NTT東日本弘前支店の支店長や社員、内潟療護園の理事長、園長が同席して贈呈式が行われ、利用者の代表に目録が手渡されました。

贈呈を受けた太田園長は「電動ベッドを買う予定だったところに今回の話が舞い込んだ。本当にありがたい。居室でさっそく使わせていただきます」と感謝していました。



話に花を咲かせました。なお、現在博物館で行われている春の企画展「新収蔵資料展―点描・奥津軽の情景―」では、一部資料の紹介がこの本から引用されており、懐かしの時代の紹介に一役買っています。

この本は「グラフ青森」社から発行されていて、県内書店のほか、スーパーストア中里ベル店でも入手できます。